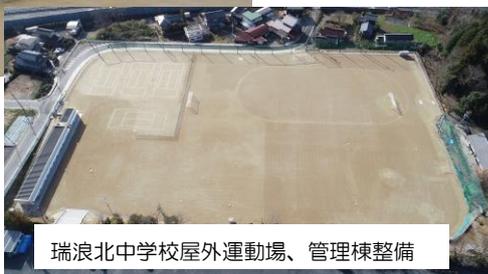


令和3年度 瑞浪市教育委員会 点検評価報告書

(令和2年度事業)



瑞浪北中学校屋外運動場、管理棟整備



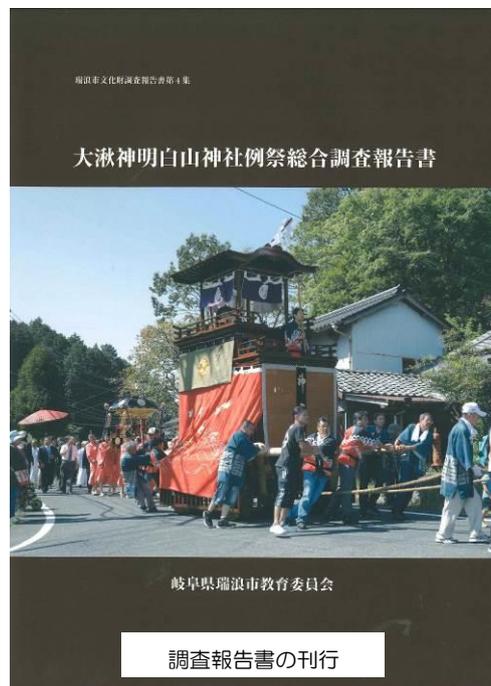
GIGA スクール構想 タブレット端末整備



安全な学校給食の提供



令和3年1月 成人式



瑞浪市文化財調査報告書第4集
大湫神明白山神社例祭総合調査報告書

岐阜県瑞浪市教育委員会

調査報告書の刊行

令和3年10月
瑞浪市教育委員会

目 次



1	点検評価の概要	1
2	教育委員会の活動状況	2
3	みずなみ教育プラン・後期計画の概要	3
4	施策ごとの取組状況	6
5	令和3年度(令和2年度事業)評価一覧	9
6	施策に対する事業評価		
	基本目標 1	12
	基本目標 2	22
	基本目標 3	27
	基本目標 4	32
	基本目標 5	38
7	教育委員会点検評価委員会のまとめ	40
8	令和2年度教育費決算について	41

1 点検評価の概要

【はじめに】

平成 19 年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務づけられました。

これは、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていく趣旨によるものです。

また、点検評価を行うに当たっては、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされており、点検・評価の客観性を確保することが求められています。

本市では、瑞浪市教育委員会点検評価委員会規則、瑞浪市教育委員会点検評価実施要領により、平成 20 年度より瑞浪市点検評価報告書を作成し報告しております。

【参考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○瑞浪市教育委員会点検評価実施要領（抜粋）

（評価事項）

第 3 条 教育委員会は、前年度の教育委員会の取組について、次の各号に掲げる内容の点検評価を実施する。

- (1) 事務事業の執行状況、教育委員会の基本方針に掲げる主要施策の執行状況及びその成果
- (2) 前年度の点検評価結果への対応状況

2 前項の点検評価においては、次の表により達成度の総合評価を行う。

区分	達成度
A	順調に達成している
B	おおむね順調に達成している
C	達成見込みであるが課題がある
D	順調でない

（点検評価の手順）

第 4 条 点検評価を実施するに当たっては、事務局各課等がその所管する事業事務等について ※第一次評価を行う。

2 教育委員会は、第一評価も結果を基に、評価委員会の意見を聴いたうえで最終評価を行う。

※事務局各課等が、その所管する事務事業等の第一評価を〔成果〕とし、「成果指標」の達成あるいはそれ以上の成果があった場合は「○」、未達成は「△」、未着手は「×」としました。

2 教育委員会の活動状況

教育委員会は、教育長と教育委員会委員の構成による合議制の執行機関です。教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて、教育長が事務局を統括して執行します。教育委員会は、会議を通じて意思決定をします。

令和2年度の活動状況

- (1) 教育委員会会議 定例会:12回 臨時会:3回 計 15回開催
議案等件数 議案:30件 承認案件:10件(すべて可決、承認)
協議会:12回
- (2) 総合教育会議 令和3年2月開催
【協議事項】
◇ICT教育に向けた現状について
◇学業支援員を必要とする児童生徒と学校現場での学業支援員の現状について
◇瑞浪市のいじめの現状について
- (3) 教育功労者表彰 令和2年11月開催
◇教育振興発展に貢献のあった教育関係2人、学校1校、一般1人
- (4) 学校訪問
◇小学校
教育長訪問7校、東教推研究発表1校、図書館審査1校、市指定発表1校
◇中学校
教育長訪問3校、東教推学級経営発表1校
◇幼児園
教育長訪問8園、市指定発表1園

【教育委員会名簿】

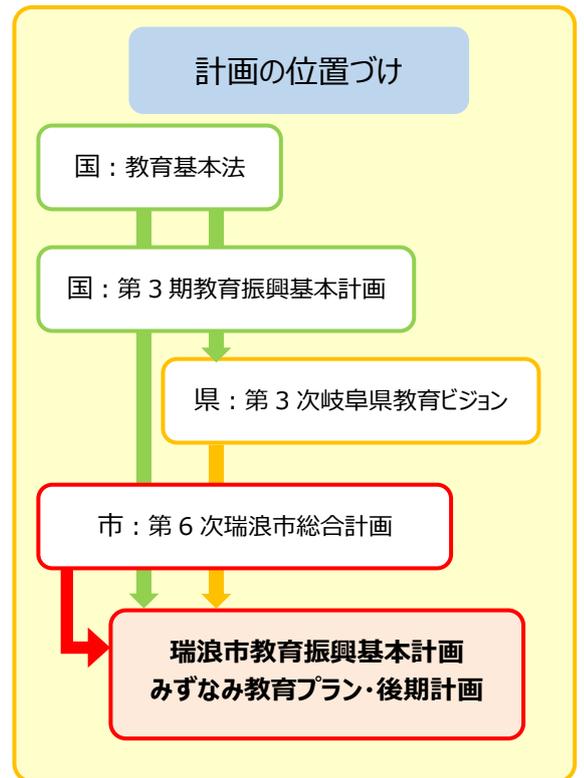
令和3年3月31日現在

職名	氏名	任期満了日	備考
教育長	やまだ ゆきお 山田 幸男	令和4年9月30日	
委員	かに けいた 可児 恵太	令和4年9月30日	教育長職務代理者
委員	はしば まこと 羽柴 誠	令和5年9月30日	
委員	しばた ようこ 柴田 洋子	令和6年9月30日	
委員	かとう ひろゆき 加藤 博之	令和3年9月30日	

3 みずなみ教育プラン・後期計画の概要

瑞浪市では、教育基本法に基づき、教育振興に関する基本的な計画として、平成 26 年度（2014 年度）から令和 5 年度（2023 年度）までの 10 年間に計画期間とする「瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プラン」を策定しています。この計画は、基本理念と 5 つの基本目標、またそれらを実現するための具体的な施策で構成されており、市の最上位計画である「第 6 次瑞浪市総合計画」（平成 26 年（2014 年）3 月策定）の教育分野の個別計画としての側面を持ちます。

計画期間の中間年となる平成 30 年度（2018 年度）には、具体的な施策の見直しを行い、令和元年度（2019 年度）からの 5 年間に計画期間とする「瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プラン・後期計画」を策定しました。今後は、この後期計画に基づき、本市の目指す教育の実現に向けて取り組みを進めます。



計画の基本理念は、『夢・生きがい・誇りを育む 瑞浪の教育』です。

基本理念の趣旨

次世代を担う子どもが **夢** に向かってたくましく生き、市民は **生きがい** をもって心豊かに暮らすことを通じて、市民誰もが郷土・瑞浪に **誇り** を感じることができる教育を平成 26 年度（2014 年度）から令和 5 年度（2023 年度）の 10 年間で推進します。

瑞浪の教育は…



困難に負けず、自ら問題解決を図りながら、**夢** に向かって果敢に挑戦する子を育みます。

家庭や地域を大切にしながら、**生きがい** をもって、いきいきと暮らす市民を育みます。

子どもから高齢者まで市民全員が、教育の様々な過程において、地域への愛着や **誇り** を育む教育を推進します。

計画で重視する基本的視点

幼稚園・学校、家庭、地域の連携

すべての市民が主体

教育を取り巻く変化に柔軟に対応

基本理念を達成するための5つの基本目標

基本目標1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進

- ・子どもたちが自立して生きていくための基礎となる力を育てるために、幼児期における教育の充実を図るとともに、知・徳・体の調和のとれた学校教育を推進します。幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携強化や中学校統合の円滑かつ効果的な推進を図ります。

基本目標2 とともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進

- ・ライフステージに対応した学びの場や子どもたちの成長のための環境の充実を図ります。高齢者やシニア世代などを活用した活力ある地域づくりを進めます。また、生涯学習に関わる指導者の育成やボランティア活動の充実を図ります。

基本目標3 誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進

- ・市民誰もが、気軽に、生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、スポーツの機会の充実を図ります。多くの市民にスポーツの魅力を発信するとともに、地域スポーツを推進します。また、スポーツ少年団やクラブなど児童生徒を対象としたスポーツ環境の充実を図ります。

基本目標4 郷土愛を育む文化・芸術の振興

- ・地域一体となって、文化財の保存と活用を推進します。文化財の保存の活動に関わる人材の育成などを推進します。また、市民が身近に歴史・文化・芸術に触れられる機会を充実させるとともに、文化施設の充実を図ります。

基本目標5 子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化

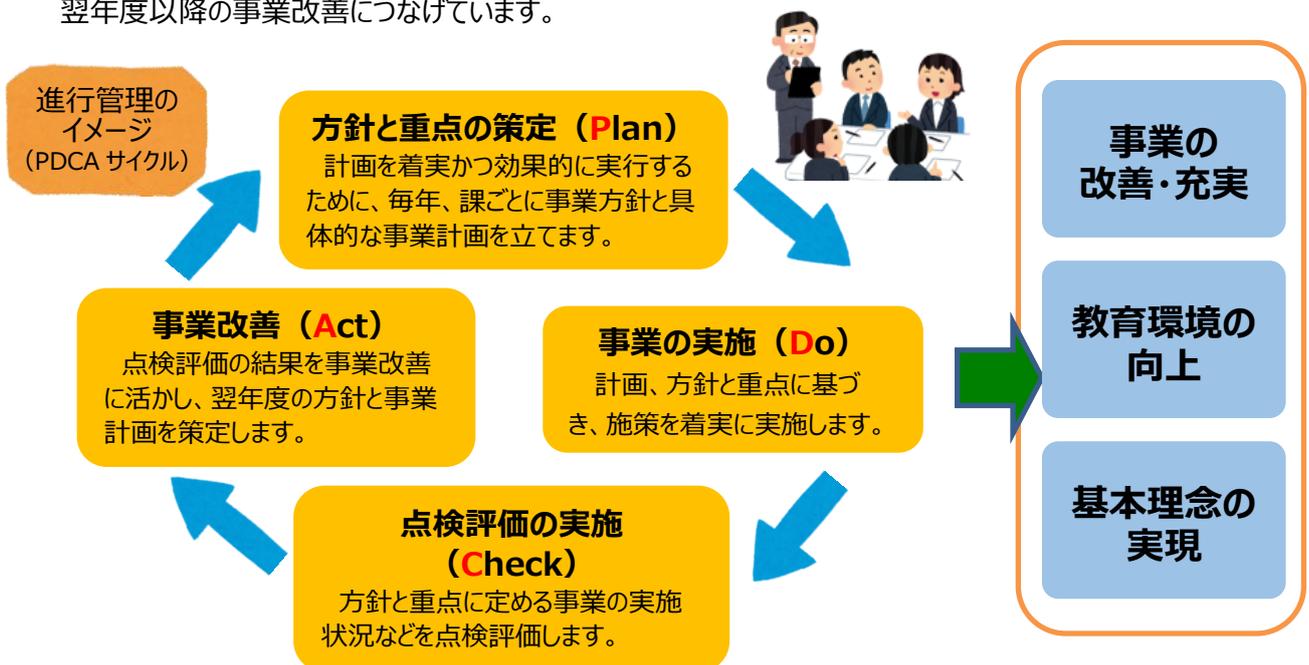
- ・幼稚園・学校、家庭、地域がそれぞれに連携を強化していくことによって、家庭の教育力、地域の教育力の向上を図ります。



計画の進行管理

計画に掲げる基本理念や目標を着実に実現するために、教育委員会ではその年に重点的に取り組む事業などを「方針と重点」として策定し、計画的かつ効果的な事業実施に努めています。

また、翌年度には、事業の実施状況や効果などを外部有識者の知見も取り入れながら、点検評価し、翌年度以降の事業改善につなげています。





具体的な施策

「基本理念」と基本理念を実現するための5つの「基本目標」、またそれぞれの基本目標を達成するために必要な具体的な「施策」からなります。

【基本理念】

夢・生きがい・誇りを育む
瑞浪の教育



【基本目標】

1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進

【施策】

- 施策1 幼保一体化による就学前教育の充実
- 施策2 確かな学力の育成
- 施策3 特別支援教育の充実
- 施策4 豊かな心の育成
- 施策5 健やかな体づくりと食育の推進
- 施策6 幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携の強化
- 施策7 幼稚園・学校の職員の資質向上
- 施策8 学校環境等の整備・充実
- 施策9 中学校の統合



2 とともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進

- 施策1 多様な世代に対応した生涯学習の内容の充実
- 施策2 地域での子育てに係る学習環境の整備
- 施策3 高齢者の活躍の場づくり
- 施策4 公民館・図書館等による人材発掘と育成



3 誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進

- 施策1 スポーツの場の充実
- 施策2 スポーツの機会の充実と魅力の発信
- 施策3 スポーツ推進委員の活用
- 施策4 体育協会・スポーツ少年団・クラブとの連携



4 郷土愛を育む文化・芸術の振興

- 施策1 まちぐるみで守る文化財とその活用
- 施策2 市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実
- 施策3 文化施設の充実
- 施策4 後継者育成、文化芸術活動団体の支援



5 子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化

- 施策1 連携による家庭の教育力の向上
- 施策2 連携による地域の教育力の向上



4 施策ごとの取組状況

重点取組事業…★ 取組事業…○

基本目標 1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進		取組年度(令和)					
		元	2	3	4	5	
主な取組	施策 1	①幼保一体化における就学前教育の指導推進 ②家庭の教育支援	○ ○	○ ○			
	施策 2	①できる・わかる授業の充実 ②外国語活動の充実 ③学校教育等における読書活動の推進 ④体験を通じた指導の充実 ⑤きめ細やかな指導の推進 ⑥家庭の教育支援	○ ★ ○ ○ ○ ○	○ ★ ○ ○ ○ ○			
	施策 3	①支援体制の整備及び充実 ②一人一人の実態に応じた指導の充実 ③幼小中の途切れのない支援の推進	★ ○ ○	★ ○ ○			
	施策 4	①豊かな心を育てる道徳教育の充実 ②いじめの未然防止・早期発見・早期対応・早期解決に向けた支援 ③不登校児童生徒の学校復帰の支援	○ ○ ★	○ ○ ★			
	施策 5	①学校における体力づくりの充実 ②安全な給食及び衛生管理の徹底 ③学校給食の安全供給と安心して美味しい給食の提供 ④学校・家庭の「食育」支援	○ ★ ★ ★	○ ★ ★ ★			
	施策 6	①幼小中の連携支援 ②家庭への意識啓発	○ ○	○ ○			
	施策 7	①幼稚園・学校の職員への指導・支援 ②資質向上のための研修 ③メンタルヘルス対策 ④研究の充実	★ ★ ★ ★	○ ○ ○ ★			
	施策 8	①老朽化した学校施設の更新 ②教育環境の整備・向上 ③情報通信機器の整備による情報教育の推進 ④学校における防災・防犯の推進	★ ★ ★ ○	★ ○ ★ ○			
	施策 9	①統合後の小中学校間の連携支援 ②通学路の確保と遠距離通学の生徒への支援 ③統合後に使用する校舎等の整備 ④新中学校における地域の拠点機能の確保	○ ○ ★ ○	○ ○ ★ ○			

基本目標 2 ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進		取組年度(令和)					
		元	2	3	4	5	
主な取組	施策 1	①公民館の生涯学習の充実 ②各公民館間の情報共有 ③市民の学習機会に関する情報提供 ④図書館サービスの充実	★ ○ ○ ○	★ ○ ○ ○			
	施策 2	①保護者の学習内容の充実	○	○			
	施策 3	①高齢者学級の活発な活動の促進 ②地域の高齢者と子どもの交流の促進	○ ○	○ ○			
	施策 4	①指導者の育成 ②図書館ボランティアの育成	○ ○	○ ○			

基本目標 3 誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進		取組年度(令和)					
		元	2	3	4	5	
主な取組	施策 1	①スポーツ施設・設備の充実 ②日常的スポーツ実践のための学校施設の開放 ③スポーツ施設に関する情報提供	○ ○ ○	★ ○ ○			
	施策 2	①トップアスリートとの交流 ②スポーツ教室・交流会の充実 ③スポーツをする機会の情報提供 ④選手育成と各種体育大会への派遣を支援 ⑤身近な場所でスポーツに親しめる環境の整備	★ ★ ○ ★ ○	★ ★ ○ ○			
	施策 3	①スポーツ推進委員との連携強化 ②スポーツ推進委員の育成	○ ○	○ ○			
	施策 4	①スポーツを行う機会の確保 ②スポーツ指導者の人員確保	○ ○	○ ○			

基本目標 4 郷土愛を育む文化・芸術の振興		取組年度(令和)					
		元	2	3	4	5	
主な取組	施策 1	①文化財の調査・保存・活用 ②未指定文化財の指定 ③地域資源を生かした学習機会の提供 ④市民向け講座の充実	★ ○ ○ ○	★ ○ ★ ○			
	施策 2	①市民の文化芸術活動の活性化 ②歴史案内ボランティア等の育成 ③学校との連携 ④博物館等文化施設における生涯学習の振興 ⑤芸術に触れる機会の充実	★ ○ ○ ★ ★	○ ○ ○ ★ ★			
	施策 3	①館蔵資料の充実、調査、研究 ②市民公園文化施設再整備 ③総合文化センターの施設整備	★ ○ ○	★ ★ ○			
	施策 4	①伝統文化の後継者育成 ②文化芸術活動団体の活動支援	★ ○	○ ○			

基本目標 5 子どもの成長支援のための幼児園・学校、家庭、地域の連携強化		取組年度(令和)					
		元	2	3	4	5	
主な取組	施策 1	①家庭教育の指針の作成と活用の促進 ②子育て・教育相談の充実 ③交流・学習機会の充実 ④幼小中の保護者の交流の創出	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○			
	施策 2	①子どもの学習・発表機会の提供 ②地域での体験・交流機会の提供 ③子どもをまちぐるみで見守る体制づくり ④青少年育成市民会議の推進 ⑤地域との連携によるキャリア教育 ⑥幼児園・学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくり	★ ○ ○ ★ ★ ○	★ ○ ○ ○ ★ ○			

5 令和3年度(令和2年度事業)評価一覧

教育委員会では、毎年、それぞれの部署が取組の基本方針である「方針と重点」を策定(Plan 計画)し、それに基づき事業を実施(Do 実行)します。そして、翌年度に事業の実施状況を点検評価(Check 評価→Action 改善)することで、教育行政の充実に努めています。

基本目標 1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進		取組年度ごとの評価				
		R2	R3	R4	R5	
主な取組	施策 1	①幼保一体化における就学前教育の指導推進 ②家庭の教育支援	A			
	施策 2	①できる・わかる授業の充実 ②外国語活動の充実 ③学校教育等における読書活動の推進 ④体験を通じた指導の充実 ⑤きめ細やかな指導の推進 ⑥家庭教育支援	B			
	施策 3	①支援体制の整備及び充実 ②一人一人の実態に応じた指導の充実 ③幼小中の途切れのない支援の推進	B			
	施策 4	①豊かな心を育てる道徳教育の充実 ②いじめの未然防止・早期発見・早期対応・早期解決に向けた支援 ③不登校児童生徒の学校復帰の支援	C			
	施策 5	①学校における体力づくりの充実 ②安全な給食及び衛生管理の徹底 ③学校給食の安全供給と安心で美味しい給食の提供 ④学校・家庭の「食育」支援	A			
	施策 6	①幼小中の連携支援 ②家庭への意識啓発	B			
	施策 7	①幼稚園・学校の職員への指導・支援 ②資質向上のための研修 ③メンタルヘルス対策 ④研究の充実	B			
	施策 8	①老朽化した学校施設の更新 ②教育環境の整備・向上 ③情報通信機器の整備による情報教育の推進 ④学校における防災・防犯の推進	A			
	施策 9	①統合後の小中学校間の連携支援 ②通学路の確保と遠距離通学の生徒への支援 ③統合後に使用する校舎等の整備 ④新中学校における地域の拠点機能の確保	A			

基本目標 2 ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進			取組年度ごとの評価			
			R2	R3	R4	R5
主な取組	施策 1	①公民館の生涯学習の充実 ②各公民館間の情報共有 ③市民の学習機会に関する情報提供 ④図書館サービスの充実	A			
	施策 2	①保護者の学習内容の充実	A			
	施策 3	①高齢者学級の活発な活動の促進 ②地域の高齢者と子どもの交流の促進	A			
	施策 4	①指導者の育成 ②図書館ボランティアの育成	A			

基本目標 3 誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進			取組年度ごとの評価			
			R2	R3	R4	R5
主な取組	施策 1	①スポーツ施設・設備の充実 ②日常的スポーツ実践のための学校施設の開放 ③スポーツ施設に関する情報提供	A			
	施策 2	①トップアスリートとの交流 ②スポーツ教室・交流会の充実 ③スポーツをする機会の情報提供 ④選手育成と各種体育大会への派遣を支援 ⑤身近な場所でスポーツに親しめる環境の整備	A			
	施策 3	①スポーツ推進委員との連携強化 ②スポーツ推進委員の育成	B			
	施策 4	①スポーツを行う機会の確保 ②スポーツ指導者の人員確保	B			

基本目標 4 郷土愛を育む文化・芸術の振興			取組年度ごとの評価			
			R2	R3	R4	R5
主な取組	施策 1	①文化財の調査・保存・活用 ②未指定文化財の指定 ③地域資源を生かした学習機会の提供 ④市民向け講座の充実	A			
	施策 2	①市民の文化芸術活動の活性化 ②歴史案内ボランティア等の育成 ③学校との連携 ④博物館等文化施設における生涯学習の振興 ⑤芸術に触れる機会の充実	A			
	施策 3	①館蔵資料の充実、調査、研究 ②市民公園文化施設再整備 ③総合文化センターの施設整備	A			
	施策 4	①伝統文化の後継者育成 ②文化芸術活動団体の活動支援	A			

基本目標 5 子どもの成長支援のための幼児園・学校、家庭、地域の連携強化			取組年度ごとの評価			
			R2	R3	R4	R5
主な取組	施策 1	①家庭教育の指針の作成と活用の促進 ②子育て・教育相談の充実 ③交流・学習機会の充実 ④幼小中の保護者の交流の創出	B			
	施策 2	①子どもの学習・発表機会の提供 ②地域での体験・交流機会の提供 ③子どもをまちぐるみで見守る体制づくり ④青少年育成市民会議の推進 ⑤地域との連携によるキャリア教育 ⑥幼児園・学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくり	A			

※令和2年度評価より、施策ごとの評価を導入したため、令和2年度から記載しています。

評価区分		評価状況
A	順調に達成している	15
B	おおむね順調に達成している	7
C	達成見込みであるが課題がある	1
D	順調でない	0
計		23

6 施策に対する事業評価

基本目標	1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
施策	1 幼保一体化による就学前教育の充実
施策の目標	●幼保一体化における就学前教育の指導を充実していきます。
主な取組	①幼保一体化における就学前教育の指導推進……学校教育課 ②家庭の教育支援……学校教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①一色幼稚園の指定園研究発表を機会に、就学前担当職員・学校教育課指導主事が事前の訪問指導を通して、保育の具体を通して幼保一体化に係る指導力を高める研修を行います。
→研究主題について組織的・継続的に推進する中で、就学前担当職員の指導のもと幼保一体化における教育の推進を図るとともに、その成果を市内の各園と共有しました。
- ②園だよりや連絡帳等を通して、幼児期の子どもの成長や高まりについて伝えるとともに、家庭における連携した支援について働きかけます。
→子どもの姿や言動を具体的に伝え、幼児期の成長を共有し、園・家庭が共に子どもを育むことができるよう努めました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
①就学前担当による園訪問と指導助言	園の要請に合わせて、可能な限り実施	○	指定園に加え、各園の要請に合わせて年間を通して訪問
②園だより・連絡帳による家庭との連携	日常的な連携	○	子どものよさを中心とした園・家庭との共有の促進

その他の成果

- ①就学前担当職員の複数回の訪問により、発達障害等についても複数の目で見取り、就学指導に活かすことができました。

【課題】

- ①幼保一体化により、保育士の就業時間が異なるため、全職員が揃って共通理解したり、研修をすることに難しさがあります。
- ②園だよりの作成や連絡帳の記入に時間がかかります。

【今後の取組】

- ①できるだけ多くの職員がそろって訪問並びに指導助言を受けることができるように、園の要望に沿いながら日程調整をするようにします。
- ②ICTの活用により、保護者との連携を密にし、良好な関係の構築を図ります。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応 点検評価委員会評価…A

*①ICTだけでなく、保育士の負担を減らす取り組みをしていただきたい。
→勤務状況の把握に努め、会議の時間の短縮、作成物の簡素化を検討します。

教育委員会評価……A

基本目標	1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
施策	2 確かな学力の育成
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒の学力分析をもとに、「基礎的・基本的な内容」に確実な習得を図ります。 ●コミュニケーション能力の素地を養うために、外国語活動の充実に向けた支援を行います。 ●学力向上の基盤となる読書活動への支援を行います。 ●規範意識の芽生えや基本的習慣を定着させるために、体験を通じた指導を充実します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①できる・わかる授業の充実……学校教育課 ②外国語活動の充実……学校教育課 ③学校教育等における読書活動の推進……学校教育課 ④体験を通じた指導の充実……学校教育課 ⑤きめ細やかな指導の推進……学校教育課 ⑥家庭の教育支援……社会教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①各種学力検査について結果の分析を実施し、定着が不十分な学習領域等について授業改善・検証を重ね、一人一人に学力の定着を図ります。
→コロナ禍において、長期の臨時休校が続いた中で、一人一人の学びを保障できるよう、各学校では教務主任を中核にして授業改善に取り組みました。
- ②小学校に派遣するALTを1名増員し、小学校における英語学習の導入期の指導を充実させます。
→小学校のALTを3名とし、学級数に応じて訪問回数を設定し、ALTと日本人教師によるチームティーチングを推進しました。
- ③学校図書館表彰の取組を励行し、学校経営に読書指導を位置付け、「読書指導」「利用指導」の側面から、児童生徒の読書量の増加を図ります。
→読書感想文コンクールの実施、図書支援員を2名配置することにより、優れた図書館経営を広める取組や魅力ある図書館経営を通して、各校の読書指導を推進しました。
- ④総合的な学習の時間をはじめ、地域と連携してふるさと教育を推進します。
→各種授業において、積極的に地域講師を招聘し、地域の人的な資源を活用しました。
- ⑤チームティーチングや少人数指導の充実を図ります。
→英語や数学(算数)の教科においてチームティーチングや少人数指導を行いました。
- ⑥小中学校における家庭教育の大切さや家庭の役割などを学ぶ研修や学習の機会を充実します。
→「コロナ禍における子ども理解」について、PTAを対象に専門家による講演を動画配信で視聴しました。休校により不安をもつ子どもに寄り添い、子どもの心の安定・充実等を図りました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
②ALTの訪問回数	長期休業日以外は原則配置する	○	新型コロナウイルス感染症予防の長期休校のため実質の回数は減少
③図書支援員の稼働時間	2名 計1,800時間以上	○	2名 計1,890時間

その他の成果

- ④各学校・地域の特色に合わせて、多様な人材を学校の教育活動に取り込み、ふるさと教育の実践が進められました。

【課題】

- ①臨時休校の一斉実施に伴い、授業時間の確保が課題となりました。

【今後の取組】

- ①毎月の心のアンケート等で、授業に係る困り感を把握する項目を設定し、個別の状況を把握します。
- ②引き続き、小学校ALT3名配置、中学校1名配置の体制を維持していきます。また、小学校教員の英語指導に係る研修を充実させていきます。
- ③引き続き図書支援員(図書館司書教諭)を2名配置し、読書指導を推進します。
- ④ふるさと教育では、地域の特性を活かし、学校の特色ある取組が行えるよう、教頭会・教務主任会等で、各校の実践の交流を進めます。
- ⑤タブレット端末を活用し、個別最適化された学習支援を行います。
- ⑥家庭教育の大切さや家庭の役割などを学ぶ学習の機会を提供します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…B

*①ALTが少なくないか。

→中学校は免許をもった教員が行うので、現段階では問題ありません。

*②③読書活動はどうしているか。

→読書週間に親子読書を行い、通常時は朝読書を行います。

*⑤2年度で新たに充実したことはあるか。

→1人1台配備されたタブレット端末を有効に使えるようにしました。

→教員のICT研修を加速させて取り組みました。

教育委員会評価……B



タブレットを活用して授業をしている様子

基本目標	1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
施策	3 特別支援教育の充実
施策の目標	●要援助児童生徒の心の安定と学力向上に向けた支援を行います。 ●一人一人の特性に応じた支援の充実に図ります。
主な取組	①支援体制の整備及び充実……学校教育課 ②一人一人の実態に応じた指導の充実……学校教育課 ③幼小中の途切れのない支援の推進……学校教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①特別な支援を必要とする児童生徒(発達障がいや学習障がい等のある児童生徒、日本語の理解が難しい外国籍児童生徒等)へ個別支援を行う人員を配置します。
→学業支援員として、小学校7校へ22名、中学校3校へ9名、合計31名を配置しました。
- ②個々の特性・実態に応じて、授業の学習支援や学校生活全般の生活支援を行います。
→学業支援員が、学級担任や教科担任の補助として支援を行いました。
- ③支援の内容について保護者・本人との合意形成を図るとともに、個別の教育支援計画を確実に引き継ぎ、途切れのない支援を進めます。
→外部機関・専門機関とも連携を進め、より適切な支援が継続して行えるようにしました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況
①各学校の支援員の必要数に対する配置状況	必要数に対する配置割合80%以上	○ 31名/31名=100%
②特別支援教育担当者の訪問回数	各園・学校学期に1回程度3回×18園・校=54回	○ 幼稚園31回、小学校61回 中学校23回 合計115回訪問

その他の成果

- ①②学業支援員が配置されることで、集団の学習であっても、個々の特性に合った支援を個別に行うことができ、落ち着いて学習に向かう姿が増えました。
- ③小学校への入学に際して、幼稚園等での就学前の様相について把握することで、適切な就学指導に活かすことができました。

【課題】

- ①②多様な特性をもった児童生徒の増加に対応できるよう、一層の支援体制整備が必要です。
- ③保護者との連携を一層密にし、児童生徒の特性に合った合理的な配慮の提供に努める必要があります。

【今後の取組】

- ①②特別支援教育に係る研修を充実させ、教職員及び学業支援員の指導力の向上を推進します。
- ③該当児童生徒について学校の担当者と特別支援教育担当者との連携が確実に行われるよう、マニュアル等を作成し、適切な就学指導が実施されるようにします。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応 点検評価委員会評価…B

*①②学業支援員の配置率が少ないのではないかと。
→支援員の配置について、学校の意向を聴取し、当課で人員配置を決定していることから配置率の計算式を適正配置数÷配置数に改めます。

教育委員会評価……B

基本目標	1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
施策	4 豊かな心の育成
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの内面の理解を深めるとともに、学級経営力の向上を目指した指導を進めます。 ●いじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決に向けた支援及び不登校児童生徒の学校復帰の支援を行います。 ●他を思いやる心を育て、人権尊重の気風がみなぎる学校づくりを進めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①豊かな心を育てる道德教育の充実……学校教育課 ②いじめの未然防止・早期発見・早期対応・早期解決に向けた支援……学校教育課 ③不登校児童生徒の学校復帰の支援……学校教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①瑞浪南中学校の学級経営に係る研究発表会並びにその実践を市内で共有し、各学校における学級経営に活かします。
→瑞浪南中学校の研究発表会に、各中学校(小学校)の中堅教諭が参加し、学び合い、自校での学級経営に活かしました。
- ②毎月心のアンケートを実施するとともに、その結果を確実に管理職等の校内関係者で共有し、問題に対して迅速かつ組織的に対応できるようにします。
→いじめにつながる問題に対して組織的に対応することができました。
- ③教育支援センターと学校が連携し、ケース会議等で共通理解したり、該当児童生徒との面談・適応指導等の個別指導を行ったりして、学校や学級への復帰を図ります。
→教育支援センター長並びに職員が学校のケース会議等に参加し、状況を適切に把握して支援にあたることができました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
②QUの学級満足度	80%以上	○	84%

その他の成果

- ②アンケート結果について情報共有の流れを明確にしたことで、校内における問題の共有が迅速化、組織化され、いじめ等の問題に対して早期対応が進められました。

【課題】

- ③各学校の教育相談コーディネーターと教育支援センターとの連携を強化する必要があります。

【今後の取組】

- ①引き続き、各学校において道德教育の充実に向けた取り組みを進めます。
②コロナ禍において、児童生徒の心理的なストレスや不安を踏まえて個別での教育相談を進めます。
③教育相談担当者会を3ヶ月に1回程度開催し、教育支援センターとの連携の強化を図ります。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…C

*①マスクの使用についてどのように考えているか。

→国、県のガイドラインに従って行っていますので、適時外すことも指導し、行っています。

*③教育相談コーディネーターは誰か。

→学校内の教育相談のリーダーで、養護教諭が担当していることが多いですが生徒指導主事が担当している学校もあります。

*③課題通りほとんど連携ができていない。

→管理職、生徒指導主事、担任が定期的にこぶし教室を訪問したりして状況把握をし、子どもとのつながりを作って連携しています。こぶし教室で報告書が作成されており、毎週、学校へ報告書により現状報告がされ、つながり、連携ができていますと考えています。臨時休校明けで不登校が急増するのではないかと心配をしておりましたが、学校教育課として人員配置をしたり、ケース会議をすることで不登校に対して取り組んできました。学校教育課としても重要な課題と受け止め、他の施策と同様またはそれ以上に取り組んでいます。

→今後、教育相談コーディネーターと教育支援センターと連携を取るよう指導していきます。

*③ケース会議にスクールカウンセラーを入れて欲しい。

→前向きに検討していきます。

教育委員会評価……C

基本目標	1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
施策	5 健やかな体づくりと食育の推進
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●健康な体づくりに向けた支援を行います。 ●安全・安心な学校給食を提供します。 ●学校、家庭、地域が連携して食育を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①学校における体力づくりの充実……学校教育課 ②安全な給食及び衛生管理の徹底……学校給食センター ③学校給食の安全供給と安心で美味しい給食の提供……学校給食センター ④学校・家庭の「食育」支援……学校給食センター

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①保健統計・運動能力・体力の状況を「みずなみの子ども」において分析を進め、改善の方途を各校に広めます。
→コロナ禍において運動能力テストが実施できませんでした。「みずなみの子ども」は保健統計についてのみ掲載し、発刊しました。
- ②③安全、安心な学校給食を安定的に供給するため、調理業務と配送業務をそれぞれ民間業者に委託します。
→調理業務はハーベストネクスト株式会社、配送業務は東海西濃運輸株式会社岐阜東濃支店が業務を行いました。
- ④地元野菜の生産者等で小学校を訪問し、一緒に給食時間を過ごします(ふれあい給食)。
→新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
④ふれあい給食実施校	瑞浪小学校 1校	△	瑞浪小学校 0校

その他の成果

- ②③大きな事故なく学校給食を安定的に供給できました。

【課題】

- ①感染症予防のため、3密を避けるという観点から体育の授業で実施できない種目もありました。
- ②③調理委託業務、配送委託業務とも令和3年度に契約が更新されます。調理委託業務については、委託業者が変更となり人員が多数入れ替わっており、業務の移行を円滑に行えるかが課題です。

【今後の取組】

- ①3密を回避して行う運動・体力づくりの方途について、各校の実践を広め、コロナ禍においても可能な体力づくりを推進します。
- ①児童生徒の運動能力の発達を促進する取組を推進します。
- ②③特に調理委託業務について委託業者と連携を密にとり、業務の移行が円滑に行われるようにします。
- ④新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、令和2年度に実施できなかった瑞浪小学校でふれあい給食を実施します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…A

- *①体力が落ちていると思うが、それをどのように改善していくか。
→基礎体力をつける運動や活動を、各校で工夫しながら行っています。

教育委員会評価……A

基本目標	1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
施策	6 幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携の強化
施策の目標	●幼小中一貫教育の充実を図ります。 ●園児・児童生徒同士の交流、保護者同士の交流を活発にします。
主な取組	①幼小中の連携支援……学校教育課 ②家庭への意識啓発……学校教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①幼小中の教職員の交流、合同研修会を開催し、教育内容の共通理解を図ります。
→コロナ禍において、幼小中の合同研修会等は開催できませんでした。
- ②学校便り等の交流・回覧を行い、日常の連携を図ります。
→学校便り、懇談等において、情報モラルについて積極的に啓発がされました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
①幼小中合同研修会	夏季研修会	△	コロナ禍で幼稚園対象研修会中止
②学校便りの地域での回覧	10校・8園実施	○	100%

その他の成果

- ②学校においても児童生徒対象の情報モラル教育が進められ、家庭との連携による指導が積極的に行われています。

【課題】

- ②コロナ禍においては、園・学校からの情報発信や保護者との直接の連携には感染症予防のため制限が多くありました。

【今後の取組】

- ①特別支援教育について、一層切れ目のない支援を実現するために、個別の教育支援計画の確実な引き継ぎを行い、幼小中の連携を強化していきます。
- ②with コロナの生活の中で、園児・児童生徒の健全な育成について、家庭との連携を双方向のメール配信システムを使用し強化します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…B

*②双方向のメールシステムとはどのようなものか。

→今までは、学校から保護者へ送るのみであったものが、保護者から学校へ欠席連絡などが出来るようになります。

*②タブレット端末を配布したからには、情報モラル等に留意して使用してほしい。

→情報モラルの啓発を書面で行いましたが、今後も随時啓発を行っていきます。

教育委員会評価………B

基本目標	1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
施策	7 幼稚園・学校の職員の資質向上
施策の目標	●幼稚園・学校の職員の資質向上のための研修を充実します。 ●幼稚園・学校の職員の意欲向上につなげます。 ●幼稚園・学校職員の働き方改革を推進します。
主な取組	①幼稚園・学校の職員への指導・支援……学校教育課 ②資質向上のための研修……学校教育課 ③メンタルヘルス対策……学校教育課 ④研究の充実……学校教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①各種訪問、園内・校内研究において保育・授業について指導助言を行い、教職員の指導力の向上を図ります。
→各園・学校への教育長訪問等を通して、取組の成果と課題が明らかになりました。
- ②夏季研修会、ICT 研修会等において、今日的な教育課題をテーマとした研修講座を実施し、教職員の指導力の向上を図ります。
→コロナ禍における夏休みの短縮により夏季研修を、ICT・タブレットの活用に係る研修として冬季に位置付け、指導力の向上を図ることができました。
- ③月、年間の目標値を明確にし、時間外勤務の縮減を図ります。
→目標値に向けて、各校において管理職の働きかけや仕事の見直しが図られました。
- ④市指定発表を行う一色幼稚園、明世小学校、瑞浪南中学校の研究実践を共有できるようにします。
→コロナ禍において、人数制限・web 配信等、可能な形で実施し、市内で共有し、学び合うことができました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
②夏季研修等の参加人数	延べ 300 名	○	コロナ禍のため夏季研修を冬季に実施
③時間外勤務の平均(把握)	月 45 時間 年間 540 時間以内	△	540 時間以上 16 名

その他の成果

- ②GIGA スクール構想の下、1 人 1 台タブレット端末の配備が進められ、ICT に係る研修が促進されました。

【課題】

- ④研究を進める上で、教職員への加重負担となる傾向は否めません。

【今後の取組】

- ①引き続き、教育長訪問を実施し、職員の資質向上を目指します。
- ②④ICT 教育、タブレットに係る研修を充実させ、教職員・児童生徒共に、ICT 活用能力を高める取組を推進します。
- ③時間外勤務となる仕事内容を調査し、教職員の働き方改革を推進します。
- ③研修・会議のオンライン開催により、移動に係る時間の削減を図ります。
- ④作成するものの簡素化や研究の重点化を図り、研究の推進と働き方改革の両立に努めます。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応 点検評価委員会評価…B

*③働き方改革により実際の過重負担は減っているか。

→時間外勤務は減っています。

*③メンタルヘルスの対策はどのようなか。

→年 3 回の管理職との面談の中での健康チェックと、年 1 回のメンタルチェックを行っています。

教育委員会評価……B

基本目標	1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
施策	8 学校環境等の整備・充実
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心を確保するための施設整備を行います。 ●改修・修繕、長寿命化等を計画的に進め、効率的、効果的な施設管理を行います。 ●新しい情報・知識・技術に対応できる児童生徒を育成します。 ●防災・防犯訓練(命を守る訓練)や通学路の安全点検等を実施します。 ●地域住民や保護者と連携して学校環境等の改善に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①老朽化した学校施設の更新……教育総務課 ②教育環境の整備・向上……教育総務課 ③情報通信機器の整備による情報教育の推進……学校教育課 ④学校における防災・防犯の推進……学校教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①竣工から約40年が経過し、老朽化の著しい稲津小学校の改修工事を計画します。
→令和2年度中に設計が完了し、令和4年度に工事施工を予定しています。
- ②改修工事の計画に併せて、トイレの洋式化及び照明器具をLED器具へ更新し、教育環境の向上を図ります。
→令和2年度中に設計が完了し、令和4年度に工事施工を予定しています。
- ③GIGAスクール構想の下で、校内のWifi環境を整備し、高速大容量のネット環境整備並びに1人1台タブレット端末の配備・各教室のプロジェクターの配備を完了し、運用できるようにします。
→令和2年度内に全て完了しました。また、インターネット回線を増やすことにより安定したネット環境が整い、本格的な運用が可能な環境となっています。
- ④地震・火災等の災害や、不審者を想定した訓練を実施し、「自分の命は自分で守る」意識を育てていきます。
→緊急時の教職員の動きをマニュアル化するとともに、適宜見直し、実効性のある訓練が実施されました。
→学級活動・総合的な学習の時間・教科指導において、学習内容と防災・防犯を関連付けた指導が行われました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
①②小・中学校改修工事(設計)	稲津小学校(設計) 1校	○	稲津小学校(設計) 1校
③1人1台タブレット端末配備	100%	○	100%

【課題】

- ①②改修範囲・規模については、施工期間等を考慮し適切な範囲に設定することと、規模についても過大とならないよう留意します。
- ③教職員のICT機器活用能力を高める研修が早急に必要です。
- ④学校だけでなく、市や地域の団体と協力・連携して防災教育を進めていくことが必要です。

【今後の取組】

- ①②工事を施工するにあたっては、学校を運用しながら行う「居ながら工事」となるため、事前打合せ等により学校との調整を十分に行い、学校運営に支障の無いよう計画します。
- ③教育研究所の主要事業として、タブレット端末の効果的な活用に向けた実践の開発を進めていきます。
- ③有事の際、児童生徒の学びを保障することや、家庭との連携を図るために、オンラインでの配信・双方向のやりとりを実現させていきます。
- ④各種訓練では、警察・消防・地域の防災団体等と協力し、実効性のある教育を進めていきます。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…A

*③ICT支援員は設置されているか。

→令和2年度は1名設置しました。

教育委員会評価……A

基本目標	1 たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進
施策	9 中学校の統合
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●各中学校の伝統や特色を継承・発展させた、特色ある学校づくりを支援します。 ●新しい学校と地域住民のつながりの形成を支援します。 ●新しい学校の安全・安心な学校環境の整備及び通学路の確保に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①統合後の小中学校間の連携支援……学校教育課 ②通学路の確保と遠距離通学の生徒への支援……学校教育課 ③統合後に使用する校舎等の整備……教育総務課 ④新中学校における地域の拠点機能の確保……学校教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①各地区の地域性・特性や各学校の特長を活かしながら、学校経営が進められるようにします。
→瑞浪北中学校校区では、主幹教諭が生徒指導担当として各校に勤務することにより、引き継ぎ等がスムーズになり、学校間の連携強化が図られました。
- ②安全に通学できるように、バス通学路線の整備を行うとともに、保護者・地域住民の協力を得て乗降時の安全を確保できるようにします。
→感染症予防のためバス乗車時のルールを徹底しました。また、通学路の安全点検を実施しました。
- ③瑞浪北中学校の屋外運動場及び管理棟を整備します。
→令和2年度中に屋外運動場及び管理棟の整備が完了しました。
- ④各地区の災害時の避難拠点として機能するよう、地域と連携した防災体制を整えます。
→避難所開設を想定して、地域の防災担当と連携して計画を立てました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
②バス路線の整備	適切なルート設定と該当生徒の100%乗車	○	整備完了 該当生徒の100%乗車
③瑞浪北中学校施設整備	屋外運動場、管理棟整備	○	屋外運動場、管理棟整備完了
④避難所開設マニュアル作成	100%	○	100%

【課題】

- ④地震・大雨洪水・土砂災害等、多様な災害を想定した取組には弱さがあります。

【今後の取組】

- ①②引き続き、統合後の小中学校の連携、スクールバスの運行について支援をします。
- ③屋外運動場、管理棟の整備が完了し、瑞浪北中学校の統合における施設整備のすべてが完了しました。
今後は、計画的にこれらの施設を適正に維持管理していく。
- ④多様な災害を想定して地域ぐるみで実効性のある訓練を実施します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…A

*統合から何年か経ったのでアンケートを取ってはどうか。(保護者含)

→検討していきます。

*②スクールバスに月吉の生徒は乗ることが出来ないが、意見は聞いているか。

→ご意見はいただきましたが、統合の準備委員会の決定として、統合によって通学する学校が変わった生徒のみ乗ることが出来ることとなっています。

*②バス通学になると歩かないし、朝部活も出来ないので体力低下が気になる。

→体力の維持、向上につながる活動を工夫、検討していきます。

教育委員会評価……A

基本目標	2 ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進
施策	1 多様な世代に対応した生涯学習の内容の充実
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な世代、多様な知的ニーズに対する学習機会の提供に努めます。 ●市民図書館は、生涯学習の拠点となるような図書館サービスの一層の充実を図ります。 ●公民館等の教育施設は、自主的な学習グループに対する支援を充実させ、生涯学習の裾野を広げる取組を推進します。 ●各公民館の事業について、幅広い市民ニーズを満たすことができるよう、公民館間の情報共有を図ります。 ●「生涯学習ガイドブック」等の充実を図り、広報やホームページ、メールマガジンなどを活用し情報提供します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①公民館の生涯学習の充実……社会教育課 ②各公民館間の情報共有……社会教育課 ③市民の学習機会に関する情報提供……社会教育課 ④図書館サービスの充実……社会教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①指定管理者制度を活用し、地区公民館の施設の維持管理及び生涯学習活動の充実に努めます。
→コロナ禍で制約のある中、できることを創意工夫し、積極的に事業が実施されました。
- ②定期的に各公民館間の情報共有を行います。
→公民館館長会・担当者会を開催し、情報共有を行いました。
- ③市民のニーズに応じた講座・教室の開催に努め、生涯学習の講座や催し物を紹介します。
→「瑞浪市生涯学習ガイドブック2020」を作成し、全戸配布しました。
- ④図書館サービスを充実し、市民の生涯学習活動を支援します。
→指定管理者により、感染症対策を踏まえて、利用者が安心して利用できる図書館サービスが提供されました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
①釜戸公民館利用者数 [令和元年度]21,546人	20,000人	△	9,496人
①日吉公民館利用者数 [令和元年度]11,027人	18,000人	△	3,898人
①稲津公民館利用者数 [令和元年度]36,308人	42,000人	△	17,259人
①陶公民館利用者数 [令和元年度]19,516人	30,000人	△	6,628人
①大湫公民館利用者数 [令和元年度]4,371人	5,000人	△	1,818人
②公民館館長会・担当者会開催回数 [令和元年度]8回	8回開催	△	7回開催
③公民館講座等参加者・学級生数 [令和元年度]4,043人	6,000人	△	1,409人
④図書個人貸出冊数 [令和元年度]194,141冊	220,000冊	△	143,261冊

【課題】

- ①感染症対策を踏まえて、利用者が安心して利用できる公民館づくりが必要です。
- ③多様な世代、知的ニーズに対応するため、市民ニーズを把握する必要があります。
- ④本に触れる機会を増やし、利用者の拡大を図る必要があります。

【今後の取組】

- ①指定管理者制度を活用し、地区公民館で住民福祉の向上につながる生涯学習の充実を図ります。
→令和3年度は、釜戸公民館の第4期指定管理者更新に取り組みます。
- ②情報共有のため公民館館長会及び担当者会を定期的に行います。
- ③アンケートや希望調査を実施し、市民ニーズに応じた講座・教室を開催します。
- ④指定管理者制度を活用し、図書館サービスの充実を図ります。

【点検評価委員会からの意見と対応】 *…意見 →…対応 点検評価委員会評価…A

*コロナ禍により事業は縮小したが、制約の多い中、できることを鋭意努力されたことは評価できる。

教育委員会評価……A

基本目標	2 ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進
施策	2 地域での子育てに係る学習環境の整備
施策の目標	●公民館や子育て団体が開催する家庭教育学級等の内容の充実を図り、子育て世代の家庭教育への関心を拡大するとともに、学習機会への参加を促進します。
主な取組	①保護者の学習内容の充実・・・社会教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

① PTA 連合会・子ども会連合会等の団体の活動内容の充実を支援します。
 →市 P 連教育講演会を動画配信式で開催しました。市子連の多くの活動は中止となりましたが、中央公民館文化祭にて「子ども広場」を出展し、「お菓子すくい」「子ども会カルタ」「子ども会活動写真展」を実施しました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況
①教育講演・懇談会参加者数 [令和元年度] 79人	80人	○ WEB配信により実施 視聴者数 延べ228人 (1部・2部・特別編の合計)

その他の成果

①新型コロナウイルス感染症の流行を受け、従来7月に開催されていた教育講演会を2月に延期。さらにWEB開催方式を導入しました。WEB開催方式には参加者の安全が図れるほか、会場の大きさや時間等の制限を受けないことによって、従来よりも多くの方が参加することができました。

【課題】

①教育講演会は、例年であれば「教育講演・懇談会」の名称とされており、参加者が講演を聴くことに加えて懇談を行うことで情報共有を深める意義もあるものでした。今後WEB開催を行う場合には、この「懇談」の部分のいかに充足させていくかが課題となります。

【今後の取組】

①参加者を増やすための広報や周知を強化します。
 事前に質問や意見を募る、視聴者アンケートの結果を公表するなど「懇談」部分の充足に取り組みます。
 市子連の取組についても、コロナ感染症対策を取りながらできるだけ実施していく方向を探ります。

【点検評価委員会からの意見と対応】*・・・意見 →・・・対応

点検評価委員会評価・・・A

*①WEBで参加したが、対面式であれば集中して聞くことができるが、家では家事等があり集中できなかった。WEB開催も便利であるが、課題もあると思った。
 →新型コロナウイルスの感染状況と、WEB配信のメリット(多人数が視聴できる。各自の予定に応じて視聴できる等)やデメリット(いつでも視聴できるからと後回しにする。ながら視聴等)を考慮しながら、今後の開催について検討していきます。

教育委員会評価・・・・・・A

基本目標	2 ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進
施策	3 高齢者の活躍の場づくり
施策の目標	●高齢者学級(寿大学)の活発な活動を促進します。 ●保幼小中、PTA、子ども会等と連携を図り、地域の高齢者と子どもの交流を図る事業を推進します。
主な取組	①高齢者学級の活発な活動の促進……社会教育課 ②地域の高齢者と子どもの交流の促進……社会教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①高齢者学級としての寿大学の活動の促進を図るため、活動や運営を支援します。
→中部寿大学は7月から活動を開始し、6回の学習会(運脳会、文化祭を含む)を開催しました。
- ②地域の高齢者と子どもの交流を図る事業を実施します。
→日吉公民館において、小学4年生の子どもたちとのマレットゴルフ交流会を、稲津公民館において、ふれあい広場(昔遊び、風船飛ばしなど)を実施しました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
①中部寿大学学生数 [令和元年度] 118人	110人	△	87人
②地域の高齢者と子どもの交流を図る事業数 [令和元年度] 12事業	12事業	△	2事業

【課題】

- ①学生数の減少に歯止めをかけるための魅力的な活動が行われるよう支援する必要があります。
- ②新型コロナウイルス感染症等の対策をとりながら事業を開催する必要があります。

【今後の取組】

- ①寿大学において、魅力的な学習会の開催やクラブ活動の促進を図ります。
- ②保幼小中と連携を図り、地域の高齢者の活躍の場を提供します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応
*特になし

点検評価委員会評価…A

教育委員会評価……A

基本目標	2 ともに学び、成長し、高めあえる社会教育の推進
施策	4 公民館・図書館等による人材発掘と育成
施策の目標	●公民館は、人材情報を共有し、指導者の育成機会の提供を図ります。 ●図書館のボランティアスタッフに対して、講座等を開催し、スキルアップを図ります。
主な取組	①指導者の育成……社会教育課 ②図書館ボランティアの育成……社会教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①講師を募集し、人材を発掘します。また、人材情報を共有します。
→講師を広報で広く募集し、また各公民館で把握している指導者情報を共有しました。
- ②ボランティアのスキルアップのため講座を開催します。
→感染症拡大防止のため、開催できませんでした。広報、チラシ等でボランティア活動を紹介し、周知しました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
①講師登録人数 [令和元年度]27人	30人	○	30人
②ボランティア登録人数 [令和元年度]142人	150人	△	121人

【課題】

- ①人材情報の発掘のための広報を強化する必要があります。
②ボランティアの確保とスキルアップを図る必要があります。

【今後の取組】

- ①講師となることができる人材を広報等で募集します。
②ボランティアのスキルアップを図る講座を開催します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応 点検評価委員会評価…A

*①登録されている講師の情報は、コミュニティ・スクールでも活用できるか。
→今後活用できるように、登録の際、対応します。

教育委員会評価……A

基本目標	3 誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進
施策	1 スポーツの場の充実
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が利用しやすいスポーツ施設となるよう各施設を管理運営し、利用率の向上を図ります。 ●施設や器具を計画的に更新し、市民が快適にスポーツを行う環境を整えます。 ●市内小中学校の体育館の有効活用を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ施設・設備の充実……スポーツ文化課 ②日常的スポーツ実践のための学校施設の開放……スポーツ文化課 ③スポーツ施設に関する情報提供……スポーツ文化課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①スポーツ施設・設備の充実
→市民競技場本部棟の実施設設計および市民体育館の電源操作盤の改修工事を実施しました。また、健康志向向上のため、血圧計を購入し設備充実を図りました。
- ②学校施設の開放
→3団体が新たに学校開放施設利用団体に登録しました。
また、新型コロナウイルス感染防止策のため、専門の先生を招いて利用に際しての注意事項や消毒方法について利用者に周知しました。
- ③スポーツ施設の情報提供
→新型コロナウイルスの感染防止策のため、利用休止や制限等の案内をホームページを通じ情報提供を行い、利用者に対する周知を図りました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標		達成状況
体育施設利用者数 [令和元年度]163,684 人	体育施設利用者数 150,000 人	△	体育施設利用者数 65,475 人

その他の成果

- ①新型コロナウイルスの影響により大会の中止・縮小、施設利用休止期間等が相次ぎ、利用者の増加とはなりませんでしたが、感染拡大防止対策として各施設の利用人数制限や消毒セットの貸し出しを行い、大会運営等を支援しました。
- ①除草・霜対策のため各屋外施設に薬剤、塩化カルシウムを散布し、整備を行いました。
- ②学校施設開放の規則を見直し、教育委員会で協議をしました。

【課題】

- ①老朽化している市民体育館の大規模改修工事において、コスト面や利用ニーズを捉えた計画が必要です。
- ②学校施設開放に関して時間帯やグラウンド、体育館などの管理範囲に対して、明確に切り分けた規則改正が必要です。現利用団体と学校クラブ活動の間で支障が起こらないよう、事前周知や準備が必要です。
- ③初めて利用される方にもスポーツ施設の情報をわかりやすく提供するため、ホームページ内容の更新、報道機関への情報提供が必要です。

【今後の取組】

- ①市民体育館を今後20年間利用可能な施設とするための改修実施設計を行います。実施設計に当たってはコストやニーズを精査し、遺漏がないよう計画を進めます。
- ①利用者に工事等の事前周知を図りながら、市民競技場の本部棟改修工事を進めるとともに市民体育館に移動式バスケットゴールを購入します。
- ②学校施設開放の規則改正を進めます。予算措置等の規則上以外での準備や懸案事項の対応を進めます。決定した事前準備スケジュールに沿って確実に準備を行います。各課で情報共有を行いながら教育委員会全体で連携し、準備を進めていきます。
- ②ホームページの内容を見直し、各施設の内容を利用者にとってこれまで以上にわかりやすいものとします。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…A

* 体育館の大規模改修について、利用者が使いやすい施設になるような意見交換の場を設けていただきたい。

- * 市体育施設の利用に当たって、市スポーツ少年団は使用料が免除となるが、クラブは使用料の負担がある。部活の延長線上であれば免除でも良いのではないか。
- 学校開放を含め、使用料の減免対象者の見直しを検討します。
- * 指導者の認定がないため、市スポーツ少年団に登録できない団体があり、施設利用に当たって不利益が生じているが改善できないか。
- 指導者の認定の有無により、市スポーツ少年団の登録団体と通常利用の団体間での施設利用の優遇について線引きは難しいため今後の取扱いについて検討します。

教育委員会評価……………A

基本目標	3 誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進
施策	2 スポーツの機会の充実と魅力の発信
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちにスポーツをする楽しさと技術を伝える機会を設けます。 ●市民がスポーツに接する機会を増やし、スポーツに対する市民の意識の向上を図ります。 ●スポーツの技術向上と競技人口の拡大を図ります。 ●市民が地域の中でスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①トップアスリートとの交流……スポーツ文化課 ②スポーツ教室・交流会の充実……スポーツ文化課 ③スポーツをする機会の情報提供……スポーツ文化課 ④選手育成と各種体育大会への派遣を支援……スポーツ文化課 ⑤身近な場所でスポーツに親しめる環境の整備……スポーツ文化課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①トップアスリートとの交流
→新型コロナウイルスの影響により中止としました。
- ②スポーツ教室・交流会の充実
→新型コロナウイルスの影響により中止としました。
ねんりんピック岐阜大会は令和3年度へ延期となりました。
- ③スポーツをする機会の情報提供
→スポーツ教室等の事業を広報やホームページを通じて情報提供する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止の案内をホームページで情報提供したのみでした。
- ④選手育成と各種大会への派遣を支援
→体育協会やスポーツ少年団への活動を支援し選手育成を図りました。各種大会の中止が相次ぎましたが、主に冬季国民体育大会、高校選抜大会等の全国大会出場者38名と7団体に対し激励金を交付しました。
- ⑤身近な場所でスポーツを親しめる環境の整備
→学校施設開放の利用案内について、ホームページ等を通じて情報提供を行いました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況
②スポーツ教室の実施 [令和元年度] 2教室	スポーツ教室の実施 3教室	△ スポーツ教室の実施 すべて中止

その他の成果

- ②ねんりんピック岐阜2020および延期となったねんりんピック岐阜2021の開催準備を行いました。

【課題】

- ①本年度でトップアスリート事業は開催方法を見直し、令和3年度以降は、市制記念として盛大に開催し、それ以外の年度は世代間交流事業として開催するため、種目選定や開催方法が課題となります。
- ②市民の運動能力低下を防ぐため、コロナ禍でも行える教室や交流会を如何に開催できるかが大きな課題です。

【今後の取組】

- ①令和3年度は域学連携事業として中京高校野球部と小学生の交流事業を計画しています。交流事業を通して小学生がスポーツに触れあう機会を創出し、スポーツ人口の拡大を図ります。
- ②令和3年度はコロナ禍でも安心して運動ができる教室として姿勢矯正ストレッチ教室及びヨガ教室を実施します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…A

*昨年度の点検評価委員会の意見を反映し、トップアスリート交流事業に代わって世代間交流事業を実施されるとのこと大変うれしく思います。

教育委員会評価……A

基本目標	3 誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進
施策	3 スポーツ推進委員の活用
施策の目標	●スポーツ推進委員との連携を強化し、地域スポーツのさらなる推進を図ります。 ●スポーツ推進委員の指導力の向上を図ります。
主な取組	①スポーツ推進委員との連携強化……スポーツ文化課 ②スポーツ推進委員の育成……スポーツ文化課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

①スポーツ推進委員との連携強化

→みんなのスポーツ交流会を開催する予定でしたが、新型コロナ対策のため中止とし、代わりに自宅でできる健康づくり体操の動画を市ホームページにて公開しました。

②スポーツ推進委員の育成

→東海4県・県・東濃支部主催の研修会の参加と AED 講習を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により中止しました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標		達成状況
①みんなのスポーツ交流会の実施 [令和元年度] 中止	みんなのスポーツ交流会の実施 2交流会	△	みんなのスポーツ交流会の実施 中止

その他の成果

①自宅でできる健康体操として、健康づくり体操(5種)の動画を制作し、市ホームページにて公開しました。

【課題】

①現在19名のスポーツ推進委員が熱心に活動されていますが、委員の認知度向上や活動しやすい環境づくりが課題であるとともに、若年層の委員の確保が必要です。

【今後の取組】

①ティールボール、野球及びワンバウンドふらばーるバレーボールをみんなのスポーツ交流会として開催します。

①②委員の認知度向上のためにホームページや広報でこれまでの活動を紹介し、若年層の委員の確保に努めます。

②昨年度中止となった AED 講習を再度計画し、開催します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…B

*スポーツ推進委員の認知度向上、委員の活動や健康づくり体操の動画を広く情報発信していただきたい。

教育委員会評価……B

基本目標	3 誰もが気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツの推進
施策	4 体育協会・スポーツ少年団・クラブとの連携
施策の目標	●市民がスポーツを行う機会や場を確保します。 ●スポーツ指導者の人員確保を支援します。
主な取組	①スポーツを行う機会の確保……スポーツ文化課 ②スポーツ指導者の人員確保……スポーツ文化課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

①スポーツを行う機会の確保

→新型コロナウイルスの影響によりほとんどの各団体主催のスポーツイベントや教室等が中止になりましたが、感染拡大防止策や利用制限を徹底した上でスポーツ施設の利用開放を行いました。

②スポーツ指導者の人員確保

→令和2年度よりスポーツ少年団の指導者の登録制度が変更になるため講習会等の開催を計画していましたが、新型コロナウイルスの影響により中止としました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況
②スポーツ少年団登録指導者 [令和元年度]71人	スポーツ少年団登録指導者 100人	△ スポーツ少年団登録指導者 84人

【課題】

②スポーツ少年団指導者の登録制度が変更になったため、各団体に改めて内容、登録方法について周知する必要があります。また、スポーツ少年団の理念、指導方法についての理解を深めていただくための講習会を実施する必要があります。

【今後の取組】

②スポーツ少年団指導者の登録制度の変更について、各団体に改めて内容、登録方法について周知し滞りのないよう周知します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…B

* ボランティアとしての指導者には、講習会の参加等で相当な金銭的負担がかかっており、その負担を軽減することがスポーツ指導者の人員確保の支援につながると考える。

* スポーツ少年団の登録団体と非登録団体とではコロナ禍の中での活動状況が異なっている。市として、少年団の登録の有無に関わらず諸団体の活動を把握し、平等に活動するように調整する必要があるのではないかと。

→コロナ感染拡大防止のため、学校開放施設の利用時間は、登録団体すべて同じ扱いとしていたが、スポーツ少年団は独自のより厳しい規制をかけている場合もあった。なるべく同じスポーツを行う団体であるので平等な条件下で利用できるように働きかけたい。

* スポーツ少年団のみならず、特に中学校のクラブとの関わりを深め、子どもたちの体力向上や競技力向上を目指していただきたい。

教育委員会評価………B

基本目標	4 郷土愛を育む文化・芸術の振興
施策	1 まちぐるみで守る文化財とその活用
施策の目標	●文化財の調査・保存に努めるとともに、文化財の維持管理と有効活動に努めます。 ●地域等と連携して、文化財の保護と活用を進めます。
主な取組	①文化財の調査・保存・活用・・・スポーツ文化課 ②未指定文化財の指定・・・スポーツ文化課 ③地域資源を生かした学習機会の提供・・・スポーツ文化課 ④市民向け講座の充実・・・スポーツ文化課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①市内遺跡の試掘調査等を実施します。
→市内遺跡の試掘調査を4件実施し、出土品整理・図面作成を行いました。
- ①中山道保存活用計画を策定します。
→中山道保存計画策定懇談会を組織して計画策定に着手しました。
- ①瑞浪市指定文化財保護等事業に補助金を交付します。
→大湫の祭礼用具更新等事業への補助は、大杉倒伏により祭礼が中止となったことから未実施となりましたが、桜堂薬師本堂等の防災・防犯設備設置・更新事業に補助金を交付しました。
- ①②未指定文化財を調査し、指定に向けて審議します。
→大湫神明白山神社例祭(祭礼用具)の追加調査を行い、調査報告書 350 部を刊行し、市の文化財指定に向けた資料整理を行いました。
- ③総合文化センターで 11 月 29 日(日)に「第 25 回岐阜県文楽・能大会 2020」を開催します。
→新型コロナウイルスの影響により令和 3 年に延期となりました。
- ④みずなみかたりべの会と連携し市民講座を開催します。
→新型コロナウイルスの影響により中止しました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
①②文化財指定に向けた文化財調査 [令和元年度] 一式	例祭の調査および報告書刊行 300 部	○	例祭の調査報告書 350 部
③文楽・能大会への来場者数 [令和元年度] 恵那市開催 400 人	文楽・能大会への来場者数 600 人	△	延期
④市民講座の開催 [令和元年度] 2回	市民講座の開催 3回	△	中止

その他の成果

- ①中山道保存計画策定のため懇談会を2回開催しました。計画は令和3年度に刊行予定です。

【課題】

- ①令和2年度に市史に関わる重要な資料となる文化財(森川文書)の存在が判り、今後、読み下しを進める必要があります。
- ③令和2年度に開催予定であった文楽・能大会を延期したため、令和3年度に開催する必要があります。

【今後の取組】

- ①市内の開発に伴い、市内遺跡の試掘調査等を実施します。
- ①中山道保存活用計画を策定します。
- ①文化財保護等事業(大湫神明神社大杉保存事業等)へ補助金を交付します。
- ①文化財(森川文書)調査として読み下し等を実施し、報告書を刊行します。
- ②大湫神明白山神社例祭の文化財指定について審議します。
- ③令和3年11月28日(日)に第25回岐阜県文楽・能大会みずなみ2021を開催します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*・・・意見 →・・・対応 点検評価委員会評価・・・A

- * 将来に向けて文化財を守るために標柱を立てるなどの計画はあるのか。
→県指定文化財は県から標柱の支給を受けることも可能ですが、教育委員会が市内にある標柱の状態を把握し管理するのは難しい状況です。基本的に指定文化財には所有者がいるため、標柱や看板を立てる際に市補助金を交付しています。今後は、所有者に周知する方法等、対応を検討します。

- * 各地区や個人から文化財保存の相談は受け付けてもらえるのか。
- 指定文化財について相談があった場合には対応しています。また、歴史案内ボランティア団体の方々にも文化財の良好な管理をするため、可能な範囲で対応していただいています。しかし、未指定の文化財については市として補助することは難しい状況にあります。
- * 史跡探訪コースとして過去に設置された標柱はそのまま消えていくのか。
- これらの標柱は、昭和 50 年代に教育委員会により史跡探訪コースの案内標柱として設置されたもので、更新するのは難しい状況にあり、引き続き標柱を設置する計画はありません。

教育委員会評価………A

基本目標	4 郷土愛を育む文化・芸術の振興
施策	2 市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が郷土の歴史や文化に親しむことのできる博物館等、文化施設の機能を図ります。 ●市内の文化財や歴史的財産に触れる機会を設け、郷土史に対する市民の理解と関心を高めます。 ●中央公民館において、市民参加型事業、ホワイエコンサート等を開催し、市民の文化芸術に対する関心を高めるとともに、創造意欲の向上を図ります。 ●文化協会をはじめとした利用団体の活動発表機会を提供し、市民の文化芸術活動を支援するとともに気軽に文化芸術に親しめる環境を整備します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①市民の文化芸術活動の活性化……社会教育課 ②歴史案内ボランティア等の育成……スポーツ文化課 ③学校との連携……スポーツ文化課 ④博物館等文化施設における生涯学習の振興……スポーツ文化課 ⑤芸術に触れる機会の充実……社会教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①文化協会や公民館利用団体への発表会の機会として文化祭を開催します。
→11月7日・8日に中央公民館文化祭を開催しました。
- ②みずなみかたりべの会のかたりべ養成講座を支援します。
→新型コロナウイルスの影響により養成講座1回の開催となり、講師を職員が務めました。
- ③出前講座や展示解説など博物館と学校の連携を図ります。
→明世小学校(2件)、瑞浪小学校(1件)と連携授業を行いました。
- ④瑞浪市にゆかりのある化石や地質、歴史、文化、芸術等をテーマとした展覧会を開催します。
→陶磁資料館にて特別展を2回、美術館にて特別展を1回開催しました。化石博物館と市之瀬美術館で開催を予定していた企画展は、新型コロナウイルスの影響により中止しました。
- ④瑞浪市にゆかりのある化石や地質、歴史、文化、芸術等をテーマとした講座を開催します。
→化石博物館にて定期講座を11回、陶磁資料館にて随時受付の絵付け体験を開催しました。
- ⑤公演事業等を企画実施し、市民が芸術文化に触れる機会を提供します。
→第67回美術展、自主事業「三遊亭小遊三・春風亭昇太 二人会」等を開催しました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
①中央公民館文化祭発表参加団体数 [令和元年度] 57団体	50団体	△	45団体
④展覧会開催期間中の入館者数(化石博物館) [令和元年度] 1回 8,300人	展覧会開催期間中の入館者数 1回 7,000人	△	中止
④展覧会開催期間中の入館者数(陶磁資料館) [令和元年度] 5回 5,203人	展覧会開催期間中の入館者数 5回 5,000人	△	展覧会開催期間中の入館者数 2回 2,466人
④展覧会開催期間中の入館者数(美術館) [令和元年度] 2回 933人	展覧会開催期間中の入館者数 2回 800人	△	展覧会開催期間中の入館者数 1回 196人
④講座の参加者数(化石博物館) [令和元年度] 32回 789人	講座の参加者数 35回 800人	△	講座の参加者数 11回 109人
④講座の参加者数(陶磁資料館) [令和元年度] 8回 232人、随時受付の絵付け体験 450人	講座の参加者数 8回 230人、随時受付の絵付け体験 450人	△	講座の参加者数 中止 随時受付の絵付け体験52人
④講座の参加者数(美術館) [令和元年度] 6回(または2講座)12人	講座の参加者数 2回 20人	△	中止

⑤総合文化センター芸術振興事業の数[令和元年度] 6事業

9事業

△

6事業

その他の成果

- ③明世小学校 6年生が制作した化石博物館の案内パンフレットについて、制作に協力するとともに成果物を博物館で展示しました。
- ④化石博物館の企画展は中止としましたが、館内にてロビー展示を計画し、市内工事現場から発見されたアシカ化石とNHKドラマで使用された化石展示を行いました。また、アシカ化石の実物とレプリカ標本を市役所ロビーにて展示しました。

【課題】

- ①⑤新型コロナウイルス感染症等の対策をとりながら事業を開催する必要があります。
- ③新型コロナウイルスの影響により学校団体の利用が減っており、今後は対面だけでなく、オンライン授業を企画する必要があります。
- ④博物館ロビーのミニ展示の在り方について検討する必要があります。
- ④新型コロナ感染防止策により中止となった展示会や講座があり、今後は内容、規模及び参加者数を再検討し実施する必要があります。

【今後の取組】

- ①⑤事業内容や規模を見直し、美術展及び自主事業等を開催します。
- ③市内小中学校に向けオンラインツールを活用した授業が可能な環境を整えます。
- ④化石博物館、陶磁資料館、市之瀬美術館において展覧会・講座を開催します。
- ④広報みずなみで連載している「みずなみ化石ナビ」掲載と連動した速報的な博物館ロビーのミニ展示を実施します。
- ④新型コロナウイルス収束までは、講座を縮小(参加人数の制限等)し実施します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…A

*特になし

教育委員会評価……………A



市内で発掘されたアシカの化石(上)、レプリカ(下)

基本目標	4 郷土愛を育む文化・芸術の振興
施策	3 文化施設の充実
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●施設利用者が快適な環境で利用できるよう、時代のニーズに適応した文化施設となるよう施設整備を進めます。 ●市民が郷土の自然や歴史、文化や芸術に親しむことができるような普及活動として展覧会や講座等を実施します。 ●市民公園内文化施設において各館蔵資料の充実を図るとともに、調査・研究を一層進めます。 ●本市の自然・歴史・文化に親しむ拠点施設として機能を高めるため、市民公園内の文化施設の再編に向けた検討を進めます。 ●総合文化センターの施設について、利用者の快適な環境づくりに努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①館蔵資料の充実、調査、研究……スポーツ文化課 ②市民公園文化施設再整備……スポーツ文化課 ③総合文化センターの施設整備……社会教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①館蔵資料の研究成果等をまとめた瑞浪市化石博物館研究報告第47号を刊行します。
→瑞浪市化石博物館研究報告第47号(掲載論文14編)を270部刊行しました。
- ①市内の文化財等の調査結果をまとめた瑞浪市歴史資料集第6集(隔年)を刊行します。
→瑞浪市歴史資料集第6集(掲載論文3編)を500部刊行しました。
- ②市民公園文化施設の再整備基本方針の立案をします。
→市民公園文化施設の統合(新博物館建設)について検討を進めました。
- ③総合文化センター施設について、利用者が安全安心に利用できるよう適宜修繕等を実施します。
→総合文化センターの設備等について、利用者の安全安心のための修繕を実施しました。新型コロナウイルス等感染症対策の換気のため全室に網戸を設置しました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標		達成状況
①化石博物館研究報告刊行 [令和元年度] 第46号 300部	化石博物館研究報告刊 行 第47号 270部	○	化石博物館研究報告刊行 第47号 270部
①陶磁資料館研究紀要刊行 (隔年) [令和元年度] 第18号 300部	瑞浪市歴史資料集刊行 (隔年) 第6集 500部	○	瑞浪市歴史資料集刊行 (隔年) 第6集 500部

その他の成果

- ①明世町で行われた市道付け替え工事に当たり、緊急化石調査を実施し、アシカ化石等の調査報告を研究報告に掲載するとともに調査報告書を刊行し、市内小中学校等に配布しました(100部)。また、アシカ化石のレプリカを制作し、実物標本とともに3月に市役所ロビーで展示しました。

【課題】

- ②市民公園文化施設の統合について全庁的に検討し、市としての方針を決定する必要があります。
- ③総合文化センターの設備等の老朽化に伴い、修繕等の必要な箇所が増えているため、優先順位を見極め整備していく必要があります。

【今後の取組】

- ①化石博物館研究報告第48号を刊行します。
- ①陶磁資料館研究紀要第19号を刊行します。
- ②市民公園文化施設の統合方針を庁議に提案し、市としての方針を決定するとともに年次計画を策定します。決定後は、基本構想等のスケジュールを策定します。
- ③総合文化センターの設備等について優先順位を見極めながら、修繕等を実施します。特定天井等の既存不適格部分の改修工事を実施します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…A

*市民公園文化施設統合の際は、子ども達がワクワクできる施設にしていきたい。

教育委員会評価……A

基本目標	4 郷土愛を育む文化・芸術の振興
施策	4 後継者育成、文化芸術活動団体の支援
施策の目標	●地域の保存団体等と連携しながら、地域の伝統文化や伝統行事の継承に努めます。 ●市文化協会等の文化芸術団体に対する補助制度を活用し、各団体の活性化を促進します。
主な取組	①伝統文化の後継者育成……スポーツ文化課 ②文化芸術活動団体の活動支援……社会教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①瑞浪市指定民俗文化財(無形)の伝承事業に対して補助金を交付します。
→2団体に対し補助金を交付しました。
- ②瑞浪市文化協会の事業に対して補助金を交付します。
→瑞浪市文化協会の顕彰事業に対して補助金を交付しました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
①補助金交付件数 [令和元年度] 3件	補助金交付件数 3件	△	補助金交付件数 2件
②補助事業件数 [令和元年度] 3件	3件	△	1件

【課題】

- ②新型コロナウイルス感染症等の対策をとりながら活動するための助言をする必要があります。

【今後の取組】

- ①民俗文化財伝承事業(3無形民俗文化財保存団体)へ補助金を交付します。
- ②新型コロナウイルス感染症等の対策をとりながら活動するための助言をし、活性化を促進します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応
*特になし

点検評価委員会評価…A

教育委員会評価……A

基本目標	5 子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化
施策	1 連携による家庭の教育力の向上
施策の目標	●家庭教育に対する保護者の意識の高揚を図ります。 ●家庭をバックアップする体制を強化します。
主な取組	①家庭教育の指針の作成と活用の促進……学校教育課 ②子育て・教育相談の充実……学校教育課 ③交流・学習機会の充実……社会教育課 ④幼小中の保護者の交流の創出……社会教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①児童生徒の自主的・自立的な学習を支援するための手引きを発行し児童生徒、保護者に活用を促します。
→各学校が手引きを発行し活用を促しました。
- ②教育相談の充実を図り、子どもや保護者を支援します。
→教育センターで来所や電話相談などを441回行いました。
- ③図書館において、ブックスタートや幼稚園や小中学校でのブックトークを実施します。
→4ヵ月児健康診査の際にブックスタートを実施し、市内小学校に出向いてブックトークを実施しました。
- ④PTA連合会において教育講演・懇談会を開催し、子育て世代の交流の啓発を図ります。
→新型コロナウイルスの影響で、今年度の教育講演会をWEB配信により実施しました。講演会後の懇談会は中止となりました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
③ブックトーク実施回数 〔令和元年度〕48回	51回	△	29回(市立小学校4校)

【課題】

- ③家庭での子どもの読書活動につながるような取組が必要です。
- ④新型コロナウイルス感染症等の対策をとりながら事業を開催する必要があります。

【今後の取組】

- ①引き続き、各学校が作成した手引きを基に、家庭学習の推進を促します。
- ②教育支援センターにおいて、教育相談を受けることが出来ることの周知を図ります。
- ③家庭での読書活動につながるような事業を実施します。
- ④新型コロナウイルス感染症等の対策をとりながら、保護者の交流を創出できる事業を開催します。また、仕事を持つ保護者が多い中、在宅型で取り組める活動を計画し、それを紹介し広げる方法を充実させていきます。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…B

*②どのような相談があるか。

→例年通り不登校関連です。

*③小学校ではどのような活動か。

→ブックトークを行っています。テーマに沿って本を紹介しています。

*④夏休みが終わって学校が始まり、心配する声はあるか。

→心配する声がありますので、子どもの学びを止めない、保障する、感染症対策も徹底する、学校を一斉休校にしない、オンライン授業の準備をするなどの対応を取っていきます。

教育委員会評価……B

基本目標	5 子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化
施策	2 連携による地域の教育力の向上
施策の目標	●シニア世代など、子どもの成長支援のために活用できる人材の発掘・育成を通じて、地域の教育力を高めます。 ●地域一丸となって子どもの成長を支援します。
主な取組	①子どもの学習・発表機会の提供……社会教育課 ②地域での体験・交流機会の提供……社会教育課 ③子どもをまちぐるみで見守る体制づくり……社会教育課 ④青少年育成市民会議の推進……社会教育課 ⑤地域との連携によるキャリア教育……学校教育課 ⑥幼稚園・学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくり……学校教育課

施策に対する評価と今後の方針

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標と実施状況

- ①主張大会を開催して、子どもの発表機会を提供します。
→新型コロナウイルスの影響により、中学生の主張大会のみ録画にて審査しました。
- ②各公民館において地域の高齢者と子どもたちが交流する機会を提供します。
→日吉公民館において、小学4年生の子どもたちとのマレットゴルフ交流会を実施しました。
- ③子どもをまちぐるみで見守るため街頭啓発を実施します。
→新型コロナウイルスの影響で、街頭啓発は中止となりました。「青少年指導員・保護者のための情報モラル教材2020年版」を市青少年育成推進員11人に配付しました。
- ④モデル地区の実践から学ぶ機会を設けます。地域の青少年や育成者の優良活動を顕彰します。
→新型コロナウイルスの影響で、モデル地区による実践発表は中止としました。地域の青少年や育成者の優良活動に対して11人の方に感謝状を渡しました。
- ⑤関係機関と連携し、職場体験学習を通してキャリア教育を進めます。
→新型コロナウイルスの影響で実施ができませんでした。
- ⑥学校におけるコミュニティ・スクール化に向けて取り組みます。
→釜戸小と稲津小が、令和3年度のコミュニティ・スクール化に向けて、準備委員会を立ち上げました。

【成果】

成果指標

評価内容	目 標	達成状況	
① 主張大会の発表者数 [令和元年度] 14人	14人	△	4人

その他の成果

- ⑥コミュニティ・スクール化に向け地域学校協働活動統括コーディネーターを1名配置しました。

【課題】

- ①②③④ 新型コロナウイルス感染症等の対策をとりながら事業を開催する必要があります。
- ⑤受け入れ先をさらに拡張する必要があります。

【今後の取組】

- ①②③④ 新型コロナウイルス感染症等の対策をとりながら、地域の教育力の向上が創出できる事業を開催します。
- ⑤商工課や社会教育課などと連携し、新型コロナウイルス感染症等の対策を取りながらよりたくさんの職業に触れることができる機会を設けます。
- ⑥令和3年度2校、4年度5校、5年度2校、6年度1校で市内10校全ての小中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール化を推進します。

【点検評価委員会からの意見と対応】*…意見 →…対応

点検評価委員会評価…A

*⑥学校評議員制度はどうなったのか。

→学校評議員制度が学校運営協議会制度へ移行しています。

教育委員会評価……A

7 教育委員会点検評価委員会のまとめ

令和3年8月19日から10月6日の間で、計3回の点検評価委員会を開催し、令和2年度事業について評価を行いました。

今年度は、事業ごとに点検、評価していた昨年度までの評価方法を見直し、「みずなみ教育プラン・後期計画」の施策ごとに評価する方法に改められ、わかりやすい報告書になったと思います。

目標を達成するための主な取組の令和2年度目標は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮せずに作成されているため、事業の内容によっては、評価しづらく感じましたが、評価としては、コロナ禍で、制限がある状況で、今までの流れを維持しながら、できる範囲で対応しており、令和2年度の取組みは、適切に実行されており、「おおむね順調に達成している」と評価します。

しかし、事業によっては、前年度の課題が、繰り返されている事業もあるように思います。簡単に解決できない、時間のかかる課題もあるかとは思いますが、改善の方向へ少しでも進むように努力してください。

これからは、コロナ禍での取組みが必要になると考えられますので、その時々の中でき得ること、改善できることを意識して事業を進めてください。

今後、例えば、コミュニティスクール等を進め、地域に子どもが住み続けたいような取組みをし、みずなみ教育プラン・後期計画の基本理念である「夢・生きがい・誇りを育む 瑞浪の教育」の実現に向けた教育の推進に努めてください。

【瑞浪市教育委員会点検評価委員】 任期は令和3年4月22日から当該年度の審議が終了するまで

役職名	氏名(敬称略)	略歴等
委員長	水野昌代	元瑞浪市教育委員
職務代理者	古田勉	元瑞浪市中学校長
委員	伊藤孝一	瑞浪市社会教育委員
委員	安藤徳善	瑞浪北中学校学校評議員
委員	藤原あづさ	瑞浪市PTA連合会母親委員長
委員	三戸憲和	瑞浪市文化財審議会委員

【点検評価委員会開催状況】

回	開催日	会場
第1回	令和3年8月19日(木)	瑞浪市役所 4階 全員協議会室
第2回	令和3年8月27日(金)	瑞浪市役所 4階 全員協議会室
第3回	令和3年10月6日(水)	瑞浪市役所 4階 全員協議会室

8 令和2年度教育費決算について

項	目	予算現額(円)	決算額(円)	執行率(%)
1 教育総務費	1 教育委員会費	1,834,000	1,484,344	80.9
	2 事務局費	157,801,000	156,074,619	98.9
	3 教育振興費	250,547,000	237,006,424	94.6
	4 教育研究所費	851,000	543,544	63.9
2 小学校費	1 学校管理費	154,015,000	128,920,562	83.7
	2 教育振興費	155,718,000	152,808,924	98.1
	3 学校建設費	102,100,000	73,923,300	72.4
3 中学校費	1 学校管理費	129,988,000	114,127,798	87.8
	2 教育振興費	77,848,000	74,444,673	95.6
	3 学校建設費	343,057,000	321,132,119	93.6
4 幼稚園費	1 幼稚園費	209,435,000	205,464,498	98.1
5 社会教育費	1 社会教育総務費	31,438,000	30,343,557	96.5
	2 青少年教育費	7,197,000	6,020,493	83.7
	3 公民館費	165,687,000	159,366,133	96.2
	4 図書館費	48,264,000	47,606,910	98.6
	5 文化費	86,039,000	83,638,595	97.2
	6 化石博物館費	11,201,000	10,922,887	97.5
	7 市之瀬記念美術館費	2,683,000	2,627,839	97.9
	8 地球回廊費	2,658,000	1,690,492	63.6
	9 陶磁資料館費	12,470,000	11,009,891	88.3
6 保健体育費	1 保健体育総務費	31,616,000	29,155,718	92.2
	2 体育施設費	8,913,000	7,039,311	79.0
	3 市民体育館費	32,775,000	30,523,961	93.1
	4 学校給食費	212,119,000	201,128,199	94.8
教育費合計		2,236,254,000	2,087,004,791	93.3